

## 災害ボランティアの募集

わが国は自然災害大国といわれており、いつ・どこで、台風・豪雨・豪雪・洪水・地震・津波・火山噴火等の予想を超えた災害が発生してもおかしくありません。県内においても、これまで多くの災害に見舞われ、その度に自然の驚異に触れるとともに、各自の災害に対する備えと被災時の対応について問われています。

日本助産師会では、現在、地域連携を含めた都道府県レベルでの災害対策の体制整備を推進しています。助産師が、その専門性を発揮し地域の妊産婦や女性とその家族を支援するためには、県や各地区の助産師会が行政との協定を結んでいくことが必要と感じています。これからは本会も、日本助産師会や茨城県・各市町村と連携しながら災害対策の充実を図っていく必要があります。それに向けた準備の一つとして、支援活動に協力できる人員を県助産師会で募ることにいたしました。

有事の際には、家族や職場、地域のことを優先しなければならない事態も十分に考えられますが、状況が許す範囲で、会としての母子支援に少しでもお力添えを頂ければと考えております。支援協力の意思がある方はぜひご登録をお願いいたします。

■募集対象：当会会員の助産師

■申込方法：HPの申し込みフォームまたは「登録申請用紙」を記入し、事務局宛てへに郵送・メール・FAXにて送付する。

■活動内容：

- ・妊産婦のケア
- ・新生児および乳幼児のケア
- ・母乳相談・育児相談・育児用品の調達・授乳室の確保
- ・女性全般の健康に関すること

■活動場所：支援要請に応じ派遣する。支援要請があり次第連絡をする。交通手段は各自で確保をお願いします。

■連絡系統：登録者は当会の公式LINEアカウントへの登録を必須とし、災害時のボランティア要請に関する連絡をさせていただきます。また、災害対策関連情報は随時提供します。

■用意するもの：ヘルメット、帽子、軍手、マスク、安全に考慮した履物、食料、水分、体調管理に必要なもの、懐中電灯などその他自分に必要なもの。衛生材料は本会で準備いたします。

■保険：当会がまとめてボランティア保険に加入し、費用は日本助産師会が負担します。  
注意）ボランティア保険は、現地での事故やケガ等に対して適用されますが、助産師資格に基づく業務中の事故は対象となりませんので、別途、日本助産師会の助産師賠償責任保険（分娩あり・なし）への加入が必要となります。また、勤務助産師賠償責任保険では、勤務先からの指示でのボランティア参加でなければ、現地での助産師資格に基づく業務中の事

故は対象となりませんのでご注意ください。

■報酬：無報酬といたします。交通費は請求に応じて、後日日本助産師より支払われます。

■その他：

- ・ボランティア登録後は**毎年度自動更新**としますが、登録情報の更新や都合により辞退したい場合は、随時事務局にご連絡ください。
- ・ボランティア登録者には、茨城県助産師会のビブス（ゼッケン）をお渡しいたします。ボランティア登録を抹消する際には、返却をお願い致します。
- ・県下自治体あるいは近隣助産師会より当会にボランティア要請があった場合、支援活動にご協力いただきます。（ただし、支援活動は任意です。）

【お申込み先】 一般社団法人 茨城県助産師会事務局